

取扱説明書

Mod.

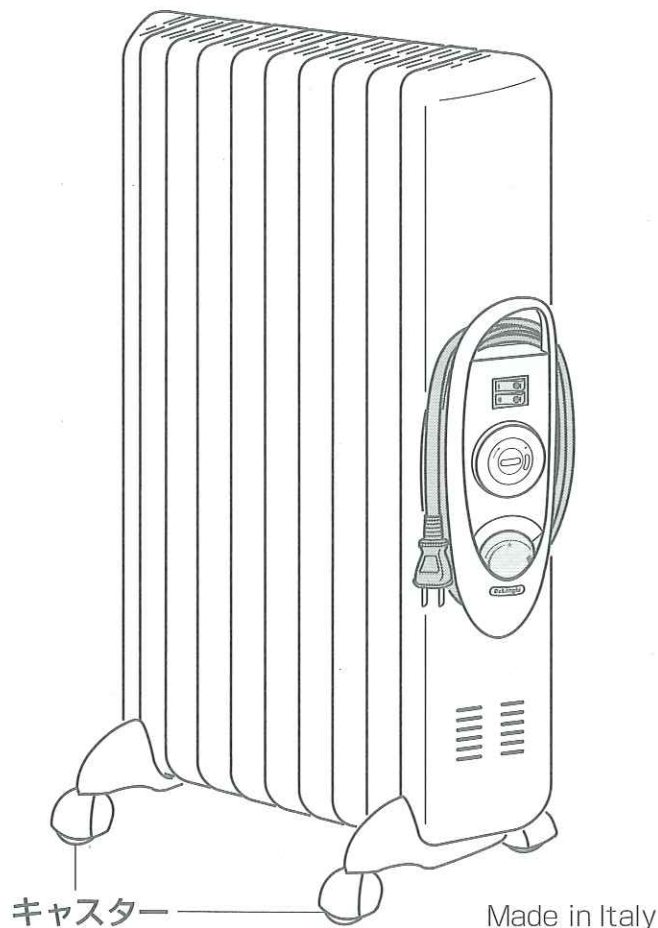
TRS0812EC

●8枚フィン：L字薄型 ●1200W ●24時間電子タイマー(3モード)付

この度は、デロンギヒーターをお買上げいただきまして、誠にありがとうございました。
お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後まで
お読みください。また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

・安全上のご注意	1～5
・知っておいていただきたいこと	5
・各部の名称とはたらき(★)	6
・操作手順：暖房のしかたは2通りあります	
(I)手動運転	7
・電子タイマーのしくみと使い方	8
(II)タイマー運転	9
・ヒーターの上手な使い方	10
・お手入れ／保管のしかた	10
・故障かな？	11～12
・真心点検について	13
・これは故障ではありません	13
・アフターサービス	13
・デロンギ・エコカバーの使い方	14
・仕様	裏表紙



★キャスターの取付け方(6頁)をお読みのうえ、キャスターを
ヒーター本体底部両端に正しく取り付けてください。

安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

- 1.ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- 2.ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
- 3.注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の三つに分け、明示しています。

⚠️ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。

⚠️ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 4.各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示が付いています。



：発火注意



：感電注意



：高温注意



：禁止行為



：分解禁止



：強制／指示



：電源プラグをコンセントから抜く

電源について

⚠️ 警告

- 電源は、家庭用交流100V／50-60Hzをご使用ください。
- 電源は、「15A 125V」と記されている壁面のコンセントから直接お取りください。

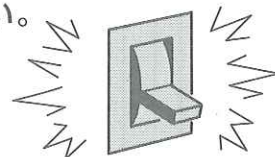
15A 125V



⚠️ 注意

- ヒーターを運転中にブレーカー(分電盤内の回路遮断器)が落ちる場合には、電力会社にご相談ください。

※詳しくは、5頁「知っておいていただきたいこと」を参照してください。

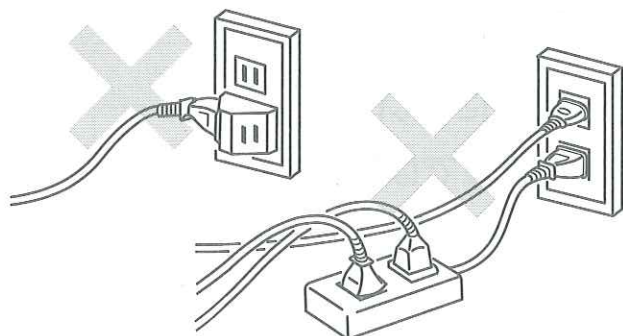


コンセントについて

⚠️ 警告

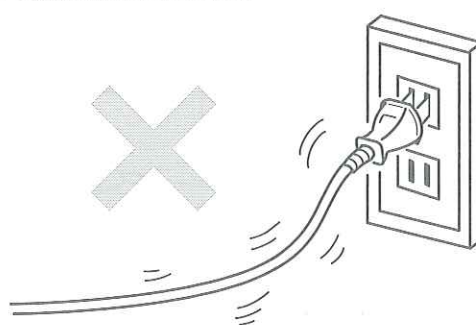
- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは、絶対に使用しないでください。

コンセントや電源プラグ／電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。



- 取付けの悪い(ガタつきのある)コンセントや差込み口(刃受)のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。

感電や発熱の恐れがあります。

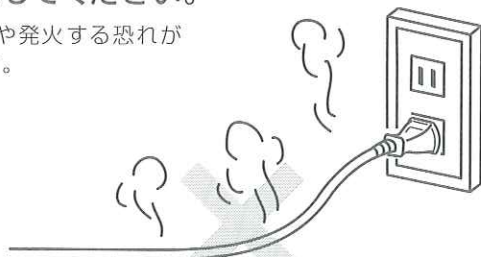


電源プラグ／電源コードについて

警告

- ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り(＝運転中止)、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(14頁参照)に、電源プラグ／電源コードの交換を依頼してください。

ショートや発火する恐れがあります。



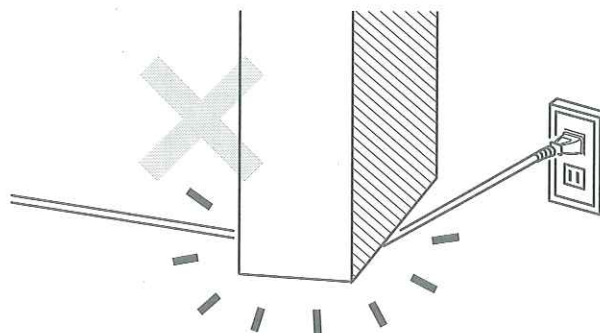
- 傷付いたり、変形・破損している電源プラグ／電源コードは、絶対に使用しないでください。

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンターに、交換を依頼してください。



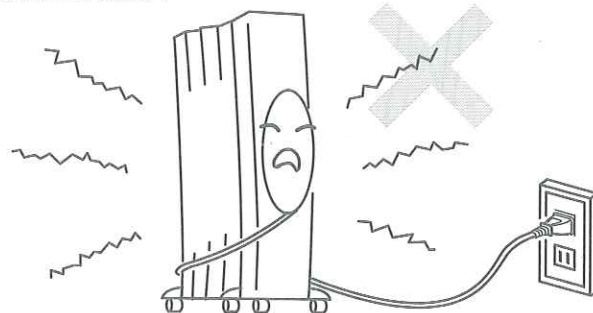
- 電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を乗せたり、傷をつけないでください。

感電やショート、発火などの原因になります。



- ヒーターの運転中は、電源コードが本体に触れないようにしてください。

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



注意

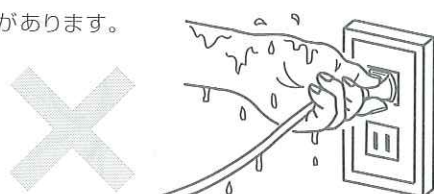
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



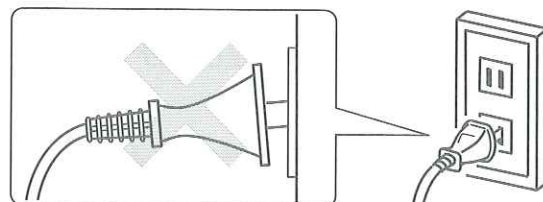
- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電する恐れがあります。



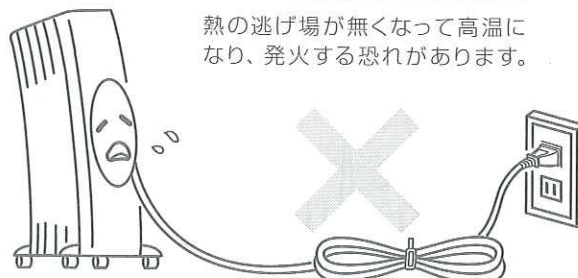
- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。

不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。



- 運転の際は、電源コードをコード・ホルダーから解き、余っても束ねないでください。

熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。

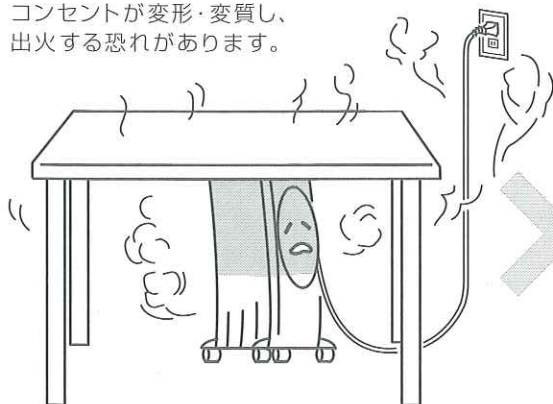


設置場所について

警告

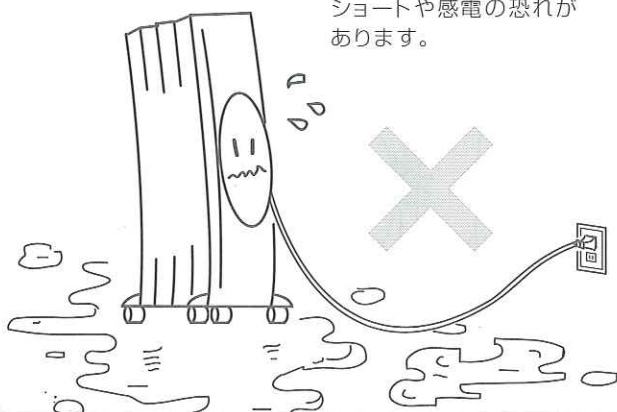
- テーブルや机、電源をとるコンセントのすぐ下でのご使用は、お止めください。

ヒーターの熱で、電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。



- 屋外や水／湿気の多い場所(部屋)でのご使用は、お止めください。

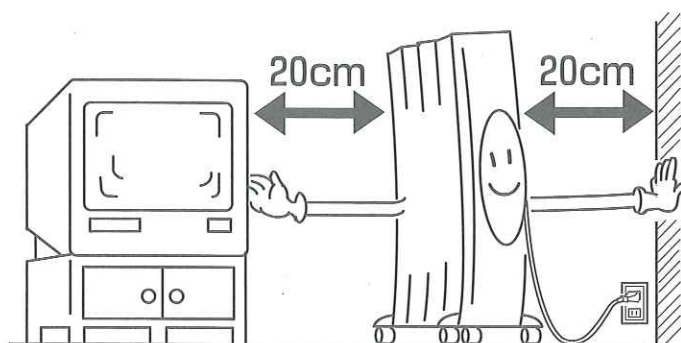
ショートや感電の恐れがあります。



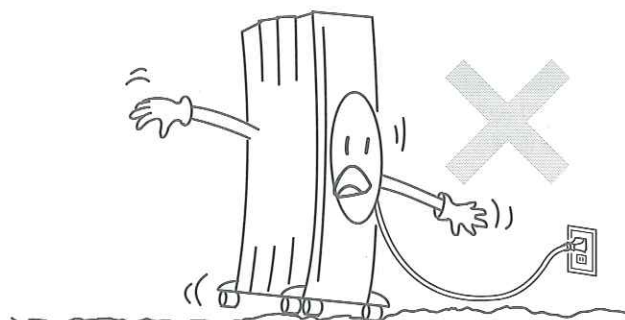
注意

- 家具や壁、カーテン、電源をとるコンセントからは、20cm以上離してください。

材質によっては、ヒーターの熱で変色／変質する恐れがあります。



- 毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置いてください。



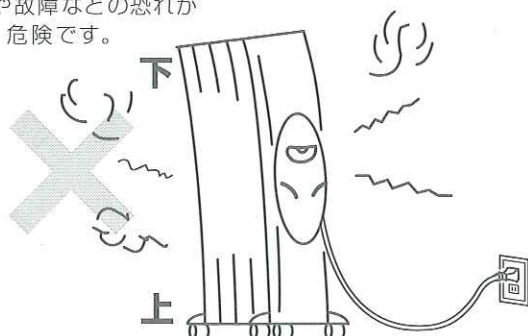
使用する際の注意

危険

- 付属のキャスター(2基)を、必ずヒーター本体下部の両端に取り付けてください。(6頁参照)

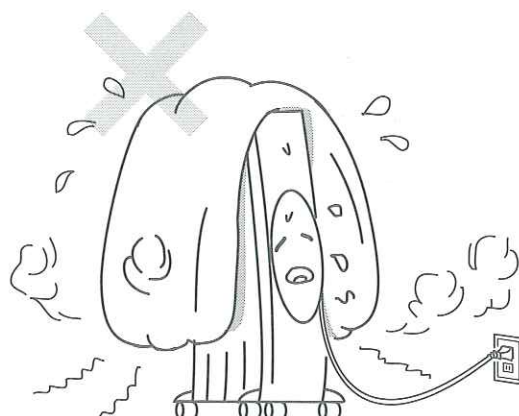
- 逆さまや横倒し、立てかけてのご使用は、絶対にお止めください。

火災や故障などの恐れがあり、危険です。



- 布団や毛布などをかけたり、濡れたもの(洗濯物など)の乾燥に利用しないでください。

過熱により、火災や故障などの恐れがあります。

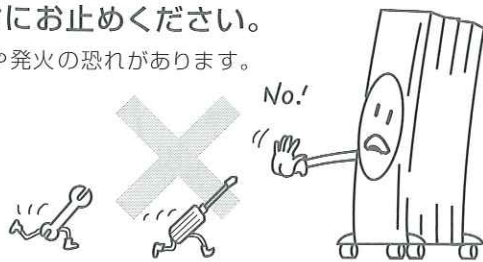


使用する際の注意

警告

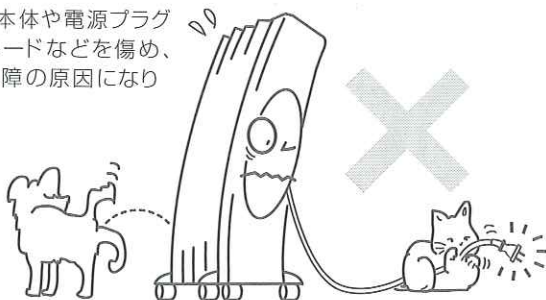
- 本製品を分解したり、改造することは、絶対にお止めください。

故障や発火の恐れがあります。



- 猫や犬など、ペットの暖房に使用しないでください。

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



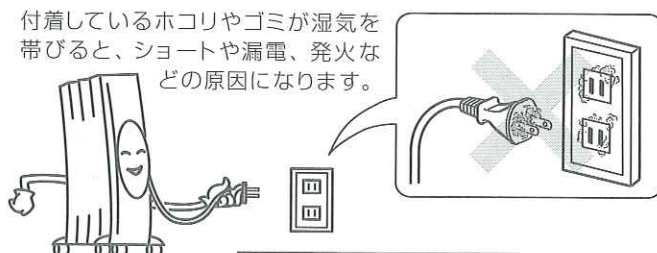
- 長期に使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

誤って、電源が入る恐れがあります。



- 定期的に、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミを掃除機などで取り除いてください。

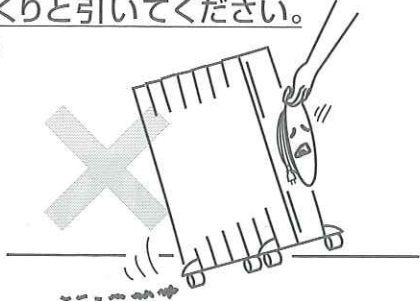
付着しているホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



注意

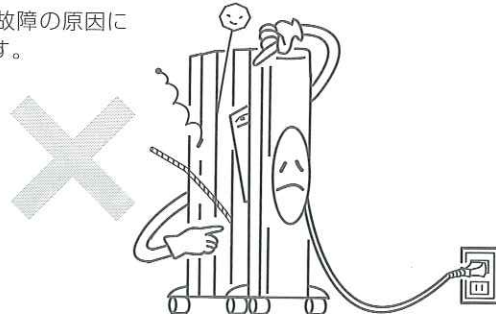
- ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行なってください。また、本体を持ち上げず、ゆっくりと引いてください。

床面が傷付く場合がありますので、必ずキャスター(全4輪)を床面につけて、移動してください。



- ラジエターのすき間や暖気用スリットなどに、異物を入れないでください。

発火や故障の原因になります。

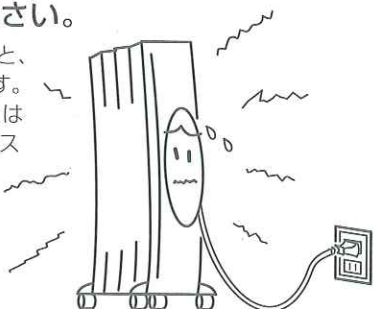


運転中の注意

警告

- 万一、異常が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチ(右側)を押して電源を切り(=運転停止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(14頁参照)までご連絡ください。



- 本体や操作部(電力切替えスイッチ、タイマー、サーモスタット)に、水やジュース(液体)などをこぼさないでください。

万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を停止します。その後、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(14頁参照)までご連絡してください。

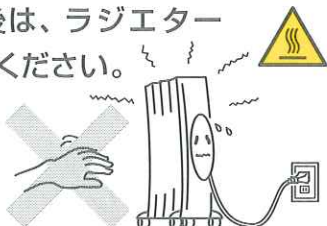


運転中の注意

⚠ 注意

- 運転中および停止直後は、ラジエター（放熱板）に触れないでください。

表面は、MAX（電力レベル：最大）で約80℃になりますので、絶対に触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。



- 小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添ってください。



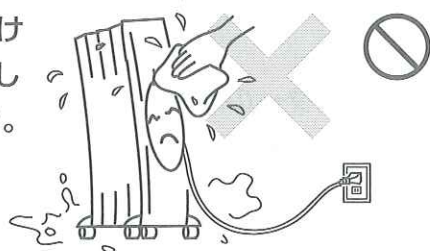
お手入れについて

⚠ 警告

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、ヒーターが冷えてから行なってください。



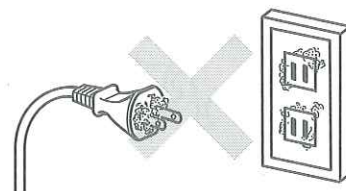
- 絶対に、水に浸けたり、水洗いをしないでください。



⚠ 注意

- ヒーターと壁や床とのすき間、電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除いてください。

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



- 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。



知っておいていただきたいこと

定格電流について

本製品の定格電流は、12A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、契約電力（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）を超えていないかどうか

確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100 (\text{V: 電圧})}$$

ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している場合や、

足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。

※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

電気代（目安）について

1時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（断熱および密閉性能など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（※1kW/h＝22円として算出した場合）

電源を入れてから 30分～1時間 （電力レベル：MAX）	部屋が適温に達した後 サーモスタットで調節 （ヒーター稼働率60%の場合）
約26円/時間	約16円/時間

各部の名称とはたらき

ヒーター内部に密封した難燃性オイル(★)を下部にある棒状の電気ヒーターで温めます。温められたオイルはパネル内を循環し、L字薄型フラットフィン(放熱板)で効率良く放熱、自然対流で室内を暖めます。

★オイルの補充・交換は不要です。

ラジエーター／フィン

ラジエーター水平断面図

L字薄型フラットフィン



電源コード

電源プラグ

キャスター(取付け式)

下記を参照して、取り付けてください。

ヒーターを移動する際のご注意

床材の質・種類によっては、床面が傷付く場合がありますので、ゆっくりと動かしてください。

コード・ホルダー

ヒーターを使わない時／移動する時などに、電源コードを巻いておきます。

付属品：台座×2、車輪×4、♀型ネジ×2、デロンギ・エコカバー

ヒーターを移動する際はここに指をかけ、持ち上げずにゆっくりと引いてください。

取っ手

電力切替えスイッチ

電源スイッチ兼用の2つのスイッチで、電力レベルを500W・700W・1200Wの3段階に切り替えることができます。

電源 { 入▶ 左側を押し込む
切▶ 右側を押し込む

パイロットランプ(スイッチ内)

電力切替えスイッチ(左側)を押して電源が入ると点灯します。ただし、サーモスタットが作動中は連動し、消点灯を繰り返します。

運転セレクトピン

3運転モード(一時停止・タイマー運転・手動運転)から選択／設定します。

電子タイマー

24時間プログラム式で、暖房の開始(ON)と停止(OFF)を自動的に行なう電子タイマーです。

※電源プラグをコンセントに差し込むと、わずかな時計音と共に運行を始めます。

サーモスタット(ダイヤル)

室内の温度を自動調節、適温の設定に使用します。

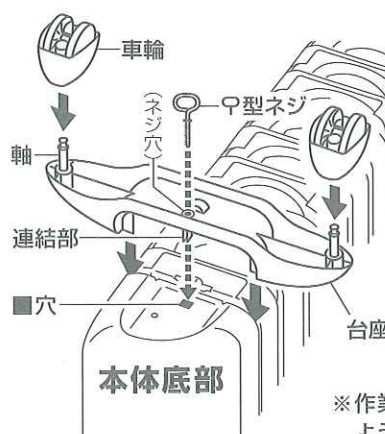
キャスターの取付け方 (付属のキャスターを、♀型ネジでヒーター本体底部の両端に取り付けます)

①ヒーター本体を仰向けにし、緩衝材(発泡スチロール)からキャスター部品(台座×2、車輪×4)を取り出します。なお、♀型ネジ(2本)は、取扱説明書(本書)と同じ袋に入っています。

②台座(の連結部)を、本体底部の端にある■穴に差し込んだ後、♀型ネジでしっかりと固定します。
※連結部と■穴がズレて入らない場合は、台座の取付け向きを反転(=水平に180度回転)してください。

③車輪を、台座の軸に奥までしっかりと押し込みます。

④もう1つのキャスターを取り付けた後、ヒーター本体をゆっくりと起こします。(完了)



⚠危険

キャスターを誤ってヒーター本体の上部に取り付けて使用すると、火災や故障などの恐れがあり、危険です。

※作業中は、ヒーター本体が倒れないように注意してください。

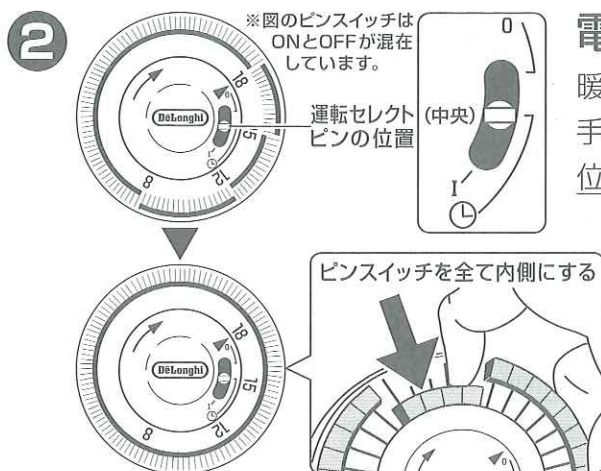
操作手順(Ⅰ)手動運転

暖房の開始／停止を電子タイマー(予約)に頼らず、その都度、手動(=電力切替えスイッチの入／切)で行なう方法です。



電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを壁面コンセントに直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは、コード・ホルダーから解き、伸ばした状態で使用ください。



電子タイマーのピンスイッチを全てONにする

暖房の開始／停止を電力切替えスイッチの入／切で行なう=手動運転では、電子タイマーの運転セレクトピンを中央のⓐ位置(=タイマー運転)にして、全てのピンスイッチ(96個=24時間分)をタイマーの中心(内側=ONの位置)に向けて押し込みます。

他の方法：運転セレクトピンを「手動運転」にする

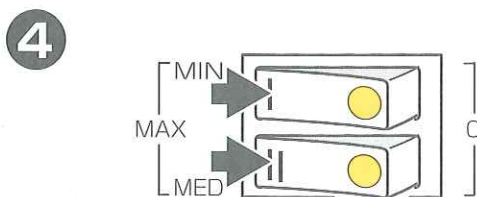
運転セレクトピンを下のⅠ位置(=手動運転)にすると、ピンスイッチに関係なく、電力切替えスイッチの入／切に連動します。

▶詳しくは、右頁「運転セレクトピンの位置とモード」を参照してください。



サーモスタットを最大にセットする

サーモスタットのダイヤルを右(時計回り)に止るまで回し、出力レベルを最大にセットします。



暖房運転を開始する(電源を入れる)

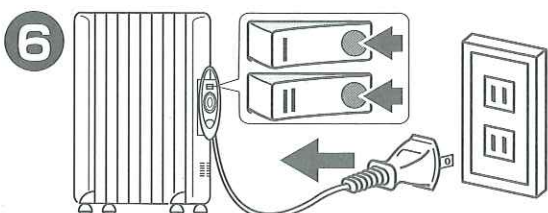
電力切替えスイッチの左側を押し込みます。電源が入るとパイロットランプが点灯し、暖房運転が始まります。運転当初は、両スイッチの電源を入れ(※)、電力レベルを最大(MAX)にしてください。

※MIN(Ⅰ: 500W) + MED(Ⅱ: 700W) = MAX(最大: 1200W)



適温(体感温度)を設定する

お望みの温度(=適温)になったら、サーモスタットのダイヤルをゆっくりと左(反時計回り)に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に適温を保ちます(→パイロットランプも消点灯を繰り返す)。



暖房運転を停止する(電源を切る)

電力切替えスイッチ(両方)の右側を押して電源を切り(→パイロットランプ消灯)、電源プラグをコンセントから抜きます。

▲高温注意：ラジエーターは、停止後もしばらくは熱いので、触れないでください。

電子タイマー(3モード)のしくみと使い方

ON/OFF型電子タイマー

暖房の開始(ON)および停止(OFF)の時刻を、15分刻みで設定できます。

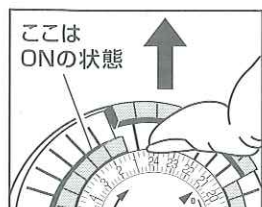
24時間プログラム式

一度設定すれば、毎日同じ時刻に一定の時間だけ暖房することができます。

運転セレクトピン付

運転セレクトピンにより、タイマー運転↔手動運転の切り替えが容易にできます。

〈電子タイマー：各部の名称とはたらき〉



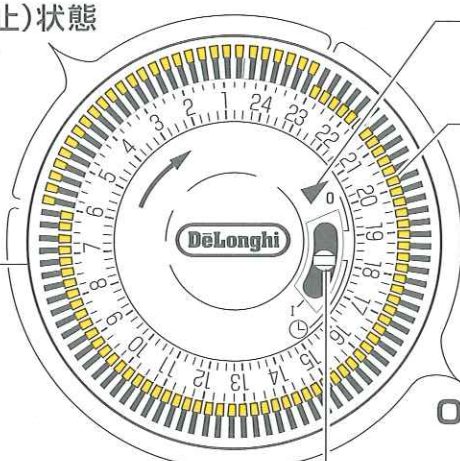
OFF(暖房停止)状態

ピンスイッチを外側に引き上げる

ダイヤル(ピンスイッチ、時刻目盛)

24時間の時刻目盛(1目盛=15分)が記されています。なお、ダイヤルは右(時計回り)にしか回らないので、ご注意ください。

※図のタイマーは、「現在の時刻は夜の9時(21時)、朝6時から夜の11時(23時)まで連続暖房する」場合を示しています。



運転セレクトピン
(下記を参照してください)

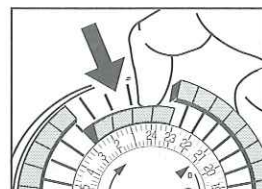
●セットポイント

▲位置に、現在時刻を合わせます。

●ピンスイッチ(全96個=24時間分)

内側に押し込んだ状態でON(暖房する)、外側に引き上げた状態がOFF(暖房停止)。ピン1個=15分。

ピンスイッチを
中心(内側)に
向けて押し込む
ON(暖房する)
状態

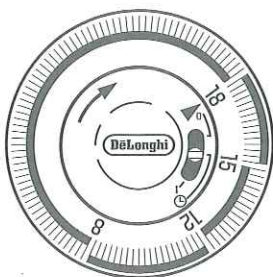


ご注意：ピンスイッチを誤ってパネル方向に押すと、タイマーが脱落する場合があります。

暖房の開始/停止時刻のセット例

〈例〉現在の時刻(夕方6時)から朝8時までと、昼12時から午後3時までの2回暖房をする

- ①電源プラグを壁面コンセントに差し込みます。
 - ②タイマーの運転セレクトピンを、中央のⒼ(タイマー運転)の位置にします。(右図表参照)
 - ③タイマーのダイヤルを右(時計回り)に回し、現在の時刻(夕方6時)=時刻目盛の「18」をセットポイントに合わせます。
 - ④時刻目盛「18~8」「12~15」にあたるピンスイッチを内側(ON位置)に、それ以外の全てのピンスイッチを外側(OFF位置)に引き上げます。
 - ⑤電力切替えスイッチ(左側)を押し込み、電源を入れます。③で合わせた時刻(現在時刻)が④で設定した暖房(ON)時間内にあるので、すぐに暖房運転が始まります。
- 後は、以上の設定(状態)を変更しない限り、毎日同じサイクルで暖房が行なわれます。



運転セレクトピンの位置とモード

位置	運転モード
0 (上)	一時停止(モード) タイマーおよび手動運転中に、一時的に運転を停止します。長期に停止する場合は、電力切替えスイッチで電源を切ります。
Ⓖ (中央)	タイマー運転(モード) 暖房の開始/停止を電子タイマーで行なう=タイマー運転にします。ここでピンスイッチを全てONに設定した場合、手動運転にできます。
I (下)	手動運転(モード) 暖房の開始/停止を電力切替えスイッチの入/切で行なう=手動運転にします。ピンスイッチに関係なく連動します。

※電子タイマーの時計機能は、セレクトピンの位置に関係なく進行します。

▶次頁「電子タイマー(運転セレクトピン)の上手な使い方」をご参照ください。

操作手順(II)タイマー運転

暖房の開始(ON)／停止(OFF)を電子タイマー(前頁参照)で行なう方法です。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

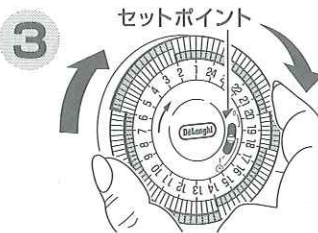


電源プラグを壁面コンセントに直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。また、電源コードは、コード・ホルダーから解き、伸ばした状態でご使用ください。

2 運転セレクトピンを「タイマー運転」にする

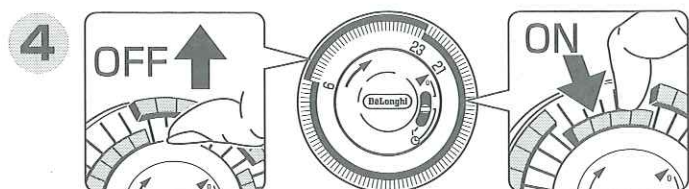


タイマーの運転セレクトピンを中央の⌚位置(=タイマー運転)にします。



3 現在時刻を合わせる

タイマーのダイヤルを右(時計回り)に回し、現在の時刻(=ダイヤルの時刻目盛)をセットポイント(▲印)に合わせます。



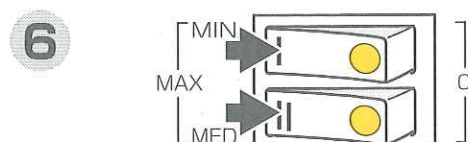
4 ピンスイッチで暖房時間の設定をする

暖房する時刻／時間帯のピンスイッチはタイマーの内側に押し込み(=ON状態)、それ以外のピンスイッチは外側に引き上げます(=OFF状態)。



5 サーモスタットを最大にセットする

サーモスタットのダイヤルを右(時計回り)に止るまで回し、出力レベルを最大にセットします。

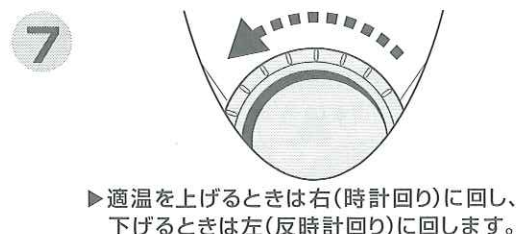


★電源を入れておかないと、設定した時刻になっても暖房が始まりません。

6 電源を入れる★(暖房運転をする)

電力切替えスイッチの左側を押し込み、電源を入れます。設定した時刻になると暖房が開始／停止します。運転当初は、両スイッチの電源を入れ(※)、電力レベルを最大(MAX)にしてください。

※MIN(I: 500W) + MED(II: 700W) = MAX(最大: 1200W)



7 適温(体感温度)を設定する

お望みの温度(=適温)になったら、サーモスタットのダイヤルをゆっくりと左(反時計回り)に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。これで適温が設定され、後は自動的に適温を保ちます(→パイロットランプも消点灯を繰り返す)。

後は、以上の設定(状態)を変更しない限り、毎日同じサイクルで暖房運転が行なわれます。

※ただし、お手入れ(右頁参照)などで電源プラグをコンセントから抜いた場合は、再び現在時刻の設定が必要です。

電子タイマー(運転セレクトピン)の上手な使い方

平日や週末の生活パターンに応じて、運転セレクトピンで「タイマー運転」と「手動運転」の切り替えをすると便利です。

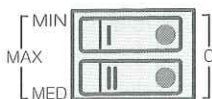
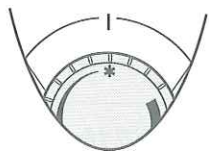
〈例〉生活パターンが同じ平日=タイマー運転(⌚位置)、平日とは異なる生活パターンの週末=手動運転(I位置)

運転セレクトピンを⌚位置(タイマー運転)に戻すと、先に設定したサイクルで暖房運転を再開します。

ヒーターの上手な使い方

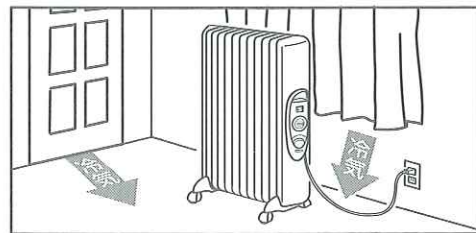
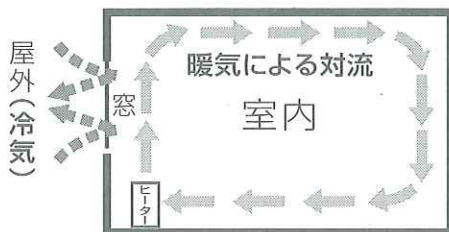
節電対策

サーモスタット | 電力切替えスイッチ



サーモスタットと2つの電力切替えスイッチをこまめに使うことで、ムダな暖め過ぎを防ぎます。お部屋が暖まったら、「出力レベル」および「電力レベル」を下げるようにしてください。

ダウンドラフト対策：効果的な設置場所



室内で、特に冷気のダウンドラフト(下降気流)が発生しやすい場所＝窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気による“エアカーテン”で、ダウンドラフトの発生を抑えます。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。

※ヒント 比較的暖かい日にご使用になる場合は、電力切替えスイッチをMAX(1200W)ではなく、MED(700W)またはMIN(500W)に設定することにより、エネルギーの消費をひかえましょう。

お手入れ／保管のしかた

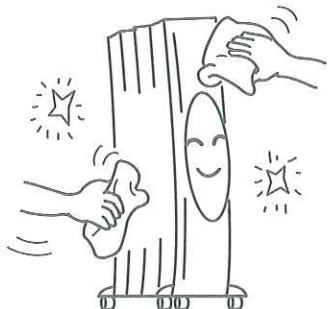
⚡️ お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。

🚫 水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。

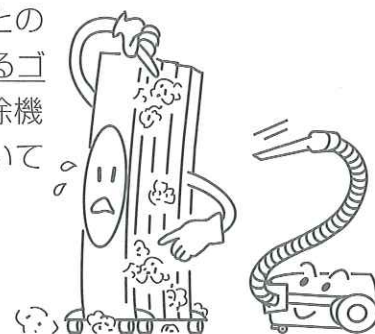
🚫 保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。



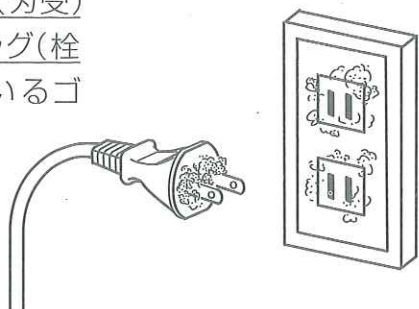
● 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



● 本体および壁と床とのすき間に溜っているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



● 壁面コンセント(刃受)および電源プラグ(栓刃)に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



● 収納／保管する際は、付属のデロンギ・エコカバーを使用してホコリなどを防ぎ、乾燥した場所に置いてください。



故障かな？

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチ(右側)を押し込んで電源を切り(＝運転を停止し)、

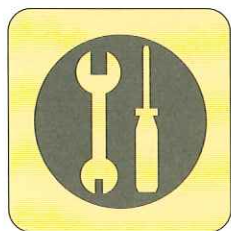
症 状 (状態)	予想される原因	対 処 の し か た
電力切替えスイッチ(左側)を押し込んでもパイロットランプは点灯せず、ヒーターも暖かにならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ(せん刃)を、根元までしっかりとコンセントに差し込む
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのダイヤルを、パイロットランプが点灯するまで右(時計回り)に回す。お望みの温度(適温: 体感温度)になったら、ダイヤルをゆっくりと左(反時計回り)に回し、パイロットランプが消えたところで止める
	その時刻に、タイマーのピンスイッチが外側(＝OFFの位置)にある	タイマーのセットポイント(▲印)にあるピンスイッチを内側(＝ONの位置)に押し込む
	タイマーの運転セレクトピンが0(一時停止)の位置にある	タイマーの運転セレクトピンを、④(タイマー運転)またはⅠ(手動運転)の位置にする
電力切替えスイッチ(左側)を押し込むと、パイロットランプは点灯しないがヒーターは暖かくなる	パイロットランプが故障している可能性あり	お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(14頁参照)に問い合わせる
長時間(2時間以上)使用しても、一度もパイロットランプが消えない	サーモスタットが故障している可能性あり	サーモスタットのダイヤルを、パイロットランプが消えるまで左(反時計回り)に回してみる。止るまで回してもパイロットランプが消えない場合は、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(14頁参照)に問い合わせる
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱く(＝約40℃以上に)なる	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格15A以上の壁面コンセントに直接差し込む
	電源プラグ(せん刃)を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ(せん刃)を、根元までしっかりと差し込む。不完全な接続は、感電や発熱の恐れあり
	差し込み口(刃受)が2つあるコンセントで、両方の差し込み口を使用している	差し込み口(刃受)が2つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差し込み口を空けておく
	コンセントがガタついたり、差し込み口(刃受)がゆるい	近くの電気店に、修理を依頼する
	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している	お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(14頁参照)に、交換を依頼する
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止める
	電源コードをコード・ホルダーから解いていない。束ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用する。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れあり
	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除く

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は、次頁「アフターサービス」を参照してください。

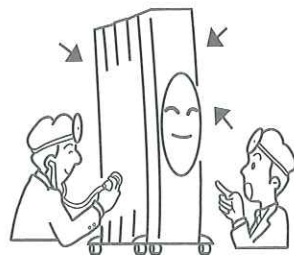
症 状 (状態)	予想される原因	対 処 の し か た
部屋が暖まらない <small>※暖房する部屋の諸条件(建材や位置など)によって異なる</small>	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのダイヤルを右(時計回り)に止るまで回し、出力レベルを最大にする
	電力切替えスイッチの電源を、片方しか入れていない	両方の電力切替えスイッチの電源を入れ、電力レベルを最大(MAX)にする
	ヒーターを、ドア(出入口)付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア(出入口)から離れた場所に置いて使用する。また、窓近くで発生するダウンドラフト(冷気流)を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的
	ヒーターのラジエーター内部にあるオイルが、まだ暖まっていない	オイルが暖まるのに約30分～1時間かかるため、事前に電源を入れておく
	部屋の温度が、20℃前後になっている	本ヒーターの特長である―部屋の壁や床、天井などからの「輻射熱」を利用した暖房方式では、快適な温度は20℃前後。ただし、寒く感じる場合は、サーモスタットのダイヤルを右(時計回り)に回し、出力レベルを上げる
タイマーが運行しない＝タイマーの外輪(ピンスイッチや時刻目盛のある部分)が右回転せず、時計音もない	電源プラグをコンセントに差し込んでいない	電源プラグをコンセントから抜くと、タイマーの運行が止る。電源プラグを一度抜いた後にタイマーを使用する(＝タイマー運転をする)場合は、再度、現在時刻をセットポイントに合わせる
タイマーの運行が途中で止る	電源プラグをコンセントから抜いた。または、タイマーが故障の可能性あり	タイマーが正常であれば、電源プラグをコンセントから抜いた時点で運行が止る
タイマーに設定した暖房の開始(ON)時刻になっても、暖房が始まらない	電力切替えスイッチの電源が入っていない	電力切替えスイッチの左側を押し込み、電源を入れる
	ピンスイッチが外側(=OFFの位置)にある	暖房したい時間分のピンスイッチ(1個=15分)を、内側(=ONの位置)に押し込む
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットの出力レベルが部屋の温度より低い場合は、自動的に暖房運転が止る。出力レベルを上げるには、ダイヤルを右(時計回り)に回す
ヒーターは暖まるのに、タイマーが運行(回転)しない	タイマーが故障した可能性あり	お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(14頁参照)に問い合わせる
タイマーに設定した暖房の開始/停止時刻と、実際の時刻に誤差がある	実際の時刻が、0分/15分/30分/45分以外のときに、現在時刻を合わせた	タイマーの運行(およびピンスイッチや時刻目盛)は15分刻みなので、実際の時刻が〇時/〇時15分/〇時30分/〇時45分のときに、現在時刻をセットポイントに合わせる。本タイマーの時間誤差は、1ヵ月で±約30秒

真心点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をお薦めします。

保証期間(3年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(持込み)をお薦めします。点検の依頼および料金等につきましては、デロンギ・ジャパン サービスセンター(右頁参照)までお問い合わせください。



これは故障ではありません

初回使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じることがあります。これは、本体の耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

パチッパチッと音がする

電源を入れると、しばらく、天ぷらを揚げる様な音がある場合があります。これは、外気との温度差によって結露が生じ、熱くなったオイルに落ちたときのもので、異常ではありません。

パネル内の青白い光

周囲が暗いと、サーモスタットや電子タイマーのある操作パネル内部に青白い光が見えることがあります。これはサーモスタットや電子タイマーが、自動的に電源をON/OFFする際のもので、故障ではありません。

アフターサービス

- 使用中に異常(★)が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り(＝運転停止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、11～12頁「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(右記参照)にご相談ください。

-----<★以下のような場合には、点検および修理が必要です>-----

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・操作パネルや放熱板(暖気孔)に、水やジュース(液体)などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式(Mod.)番号 ③故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用してデロンギ・ジャパン サービスセンター(右頁参照)に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。

- 保証期間中(3年)は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有償で修理いたします。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター(右頁参照)までお問い合わせください。

デロンギ・エコカバーの使い方

1) ホコリよけのカバーとして：シーズンオフには、収納／保管用カバーとしてご利用ください。

2) ご不用時／回収(再資源化)ご依頼時の梱包材として：デロンギヒーターに

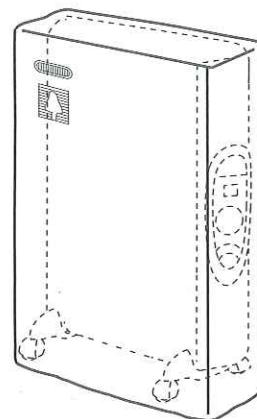


使用しているオイルには、環境に有害な有機塩素化合物・重金属が含まれておりません。しかし、自治体によっては、ご不用になったオイルヒーターを引き取らない場合があります。

その際は、下記の要領に従い、デロンギ・ジャパンサービスセンター(下記参照)までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について▶再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となりますので、予めご了承ください。

梱包について▶ご不用になったデロンギヒーターは、付属のデロンギ・エコカバーに包んでお送りください。なお、デロンギ・エコカバー以外のもので梱包／返送される場合は、再資源化の費用が有料になることがあります。また、修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。



※デロンギ・エコカバーは、無漂白の綿100%で出来ています。

デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日 9:30~18:00)

●横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内 4号ビル

修理について Tel.0120-804-280
お問い合わせ Tel.0120-064-300 / Fax.045-450-3291

●大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25

修理について Tel.0120-692-885
お問い合わせ Tel.0120-692-880 / Fax.06-6368-2881

●ホームページでのお問い合わせ(URL) <http://www.delonghi.co.jp>

仕 様

製 品 名 称		デロンギヒーター L字薄型フィン 24時間電子タイマー付
型 式 番 号 / 放 熱 板 の 数		TRS0812EC / 8 枚
適 用 畳 数		3 ～ 8 畳
定 格	電 圧 / 周 波 数	交流100V / 50-60Hz
	消 費 電 力	500・700・1200W
外 形 寸 法 / 重 さ(※)		長さ44.5 × 幅24.5 × 高さ64.0cm / 12.4kg
タ イ マ ー		24時間ON/OFF型電子タイマー(3モード)
安 全 装 置		転倒時自動電源遮断装置・復帰型安全ヒューズ
電 源 コ ー ド の 長 さ		2.3m
付 属 品		台座×2、車輪×4、円型ネジ×2、デロンギ・エコカバー

※外形寸法および重さの各数値は、キャスター(2基)を取り付けた状態のものです。



デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel. 03-5256-6321(代)



環境に負荷の少ない無塩素漂白エコパルプ(ECF)とソイインクを使用し、水なし印刷をしています。